

みしま

春が来た。

大林ふるさとの山

カタクリの花

4月中旬から見ごろ

2010

4

広報みしま No. 205

「大林ふるさとの山」（三島町西方）には、カタクリが約4畝に群生しており、淡い紫色の花を咲かせます。また、三島町の花であるオオヤマザクラも咲き、里山は優しい春の色に包まれます。この公園は地元住民によって美しい景観が守られており、遊歩道を歩きながら野の花を楽しむことができます。

●開花情報の問い合わせ／三島町役場 産業建設課 文化観光係 ☎ 0241 (48) 5533



平成 22 年度予算が審議された町議会 3 月定例会

未来は、今の延長にしかありません。
今できることをすることが、
未来を創造するための、ただ一つの方法です。
与えられた環境の中で、ベストを尽くす町政。
決してあきらめない町政。
当たり前のことを、しっかりとやる町政。
未来を察知し、変わろうとする町政。
この初心を忘れずに、行動へ移します。



特集●平成 22 年度の町政

未来は 今の延長にしかない

平成 22 年度の町の予算が、町議会 3 月定例会で議決されました。
限られた財源の中で「あれもこれも」という町政から脱却し、
行すべき施策の「選択」と、
経費と労力の「集中」を図る予算編成となっています。

TOP NEWS

空き家を改修した「のんびり館」



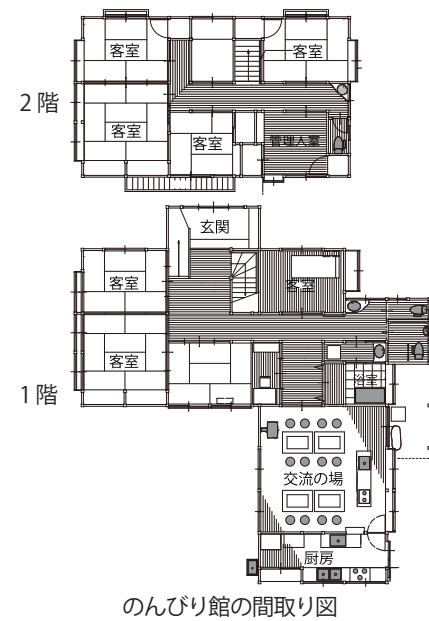
1_ 旧丸角旅館(宮下)を改修した「のんびり館」／2_ 桐で作られた床は優しく温かい。そのほか栗や杉などの地場材を利用し、ぬくもりのある空間を作り出している／3_ 天井には燃えにくく加工された不燃材が使われ、梁には杉の丸太が大胆に使われている／4_ 身も心も温まる檜風呂／5_ オープンに先立ち行われたモニター宿泊体験では、囲炉裏を囲んで地元料理を味わった

田舎に里帰りしたような 宿泊体験ができる宿

「のんびり館」4月17日オープン

空き家となっていた旧丸角旅館(宮下)を改修した「のんびり館」が、4月17日にオープンします。この改修は、町内 6 団体が加入している「宮下住マイル会」が、「ふくしまの家地域活性化支援事業」により行ったものです。
木造 2 階建ての館内には客室が 7 部屋、囲炉裏と薪ストーブが置かれた交流の場、厨房、檜風呂などがあります。床には桐や栗などの地場材を使用し、木のぬくもりを十分に生かしています。

と連携しながら、農業体験、自然体験などのプログラムを実施する計画です。食事にはできるだけ地元食材を使い、山村の家庭料理の味を提供します。
同社の栗城佐代表(宮下)は「お客さんに『お帰りなさい』という気持ちで接し、『また三島にきたい。いつか三島に住んでみたい』と提供したい」と思っています。また、この改修だけに終わらず、地場材を利用した生活空間を提案し、林業の活性化、二地域居住や定住化にもつなげたいです」と大きな夢を描いています。



のんびり館の間取り図

● のんびり館 ☎ 0241 (42) 7008
住所／三島町大字宮下字宮下 262

さあスタートだ 新しい三島町へ



特集◎平成22年度の町政

4月から新体制でスタートした三島町役場。地域の良さを活かす事業や、今までにない画期的な施策が計画されています。各課の職員も新たな顔ぶれとなりました。平成22年度の計画の中から、5つの主な施策をお知らせします。

1 保育料を半額にして子育てを支援



各階層の保育料徴収額を4月から半額とし、新たな子育て支援としてスタートします。

例

保育料が月額18,000円の場合
(1年間の徴収額の比較)

今まで
18,000円×12カ月＝216,000円



4月からは半額
9,000円×12カ月＝108,000円
(108,000円の減)

※第2子以降に6歳の誕生日まで支給してきた「育児助成金」は廃止します。

第2子(1年間の支給額)
2,000円×12カ月＝24,000円



4月からは廃止
0円

問 教育委員会 ☎ (48) 5599

2 「光」を活用したテレビ放送



平成21年度に整備した光ファイバーケーブルを活用し、テレビ放送設備を整備します。役場にセンター施設を設け、次のような放送を行う計画です。

- ①地上・BS デジタル放送の送信
- ②デジタルをアナログに変換した放送の送信
- ③町の自主放送の送信

町内にはテレビ難視聴地域が存在し、6地区で共聴施設により放送を受信しています。来年7月にはアナログ放送が終了し、デジタル放送に完全移行します。町では難視聴地域以外の世帯も含め、町内全世帯でデジタル放送が見れるよう対応します。また、自主放送では町の話題や議会中継など、独自の番組を放送します。

光ファイバーケーブルを活用したテレビの視聴は有料となります。皆さんの役に立ち、楽しみとなるような放送を行い、全世帯に加入していただけるよう努めていきます。

問 企画財政係 ☎ (48) 5515

3 町民の健康を守る保健指導



生活習慣病を予防するために、「食」と「運動」の両面から集団指導、個別指導を行い、効果を高めていきます。また、総合検診、各種がん検診などの受診率を高め、病気の予防を図ります。特に、一度も検診を受けたことのない方に対する勧誘に努めます。さらに、保健推進員、食生活改善推進員、健康を守る会などの活動を促進し、町民の皆さんと一体となった健康づくりを進めます。

①家庭訪問による個別指導

特定保健指導対象者に、家庭訪問による個別指導を実施し、個々の生活に応じた改善を促します。また、健康状態が危ぶまれる方には医療機関受診を勧めるなど、重症化を防ぎます。

②健康教室の開催

- ①ヘルスアップえいよう教室
- ②ヘルスアップうんどう教室
- ③足腰げんき教室
- ④高血圧予防教室
- ⑤健診事後指導会

問 保健福祉係 ☎ (48) 5565

4 学童保育と体験活動による子どもの育成



町民センター図書コーナー「ゆめぼけっと」において、「学童保育」を実施し、小学生が放課後を安心して過ごせるようにします。さらに、自然・文化体験活動を行い、子どもたちの健やかな育成を図ります。また、関係団体や学校と連携しながら、読書の推進、図書の充実を図ります。

①放課後子どもプラン事業

「桐の子隊」での体験活動

- ①通学合宿
- ②美坂高原キャンプ
- ③川遊び

②読書コミュニティ推進事業

読書を通して学び、豊かな心をはぐくむ環境を充実させるために、関係団体や学校などと協力しながら、親しみやすい図書コーナーづくりに努めます。

- ①図書コーナー係員の配置
- ②月1回程度の催し会
- ③新刊の定期購入

問 教育委員会 ☎ (48) 5599

5 自治体の枠を超えた地域づくり



只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町・桧枝岐村)と、奥会津5町村活性化協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町)の事務局が、三島町役場内に設置されました。さらに、4月から「奥会津振興センター」として、各町村が抱える課題を解決していきます。

①只見川電源流域振興協議会

- ①奥会津振興公社の設立(地域産業の起業)
- ②奥会津大学の設立(人材育成事業)
- ③奥会津事務所の設置(地域の暮らし安定化事業)

②奥会津5町村活性化協議会

- ①奥会津振興センターの設立
- ②物産・観光トライアル in TOKYO
- ③森林・林業再生プラン実践事業
- ④奥会津の水とみどりを守る事業
- ⑤奥会津地域資源活用研究会

問 文化観光係 ☎ (48) 5533

用語の説明

●一般会計と特別会計

町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。

●町税

町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。

●地方交付税

町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。

●町債

町の借金で、償還が2年以上にわたるものです。公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。

●国庫支出金

町が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金です。

●県支出金

町が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金です。

●人件費

報酬や給与などです。

●物件費

賃金、旅費、需用費などの消費的な経費です。

●維持補修費

道路や公共施設などを管理するための経費です。

●扶助費

高齢者、児童、心身障害者などの支援のための経費です。

●補助費等

町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。

●普通建設事業費

道路や公共施設などの整備のための経費です。

●公債費

町の借金を償還する（返す）ための経費です。

●積立金

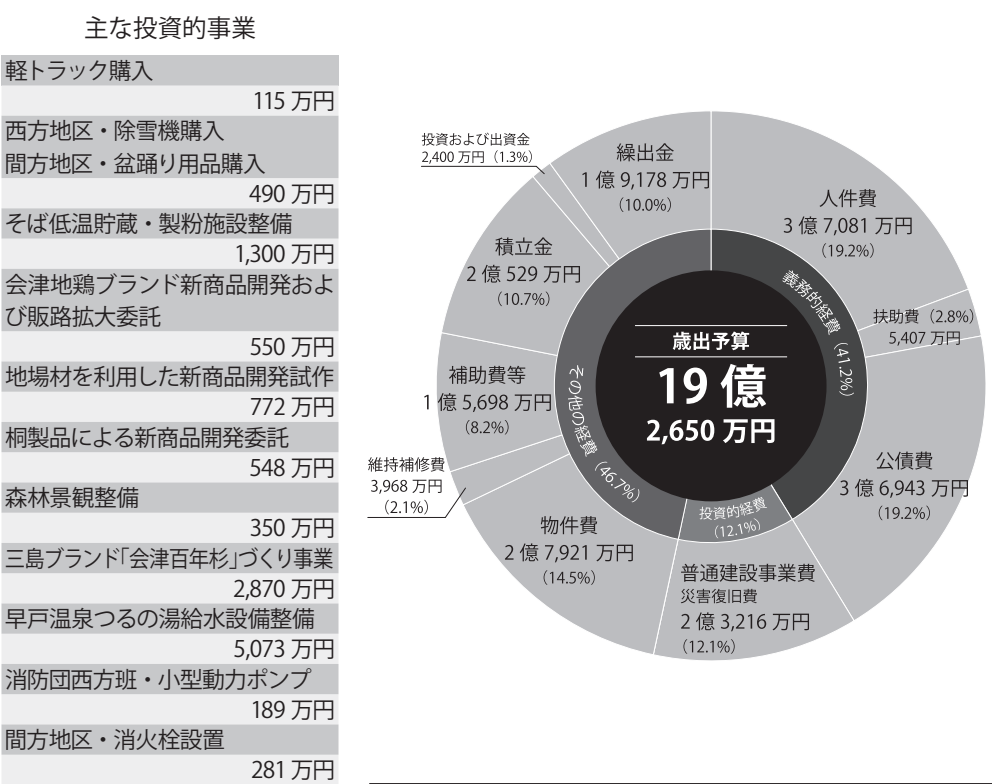
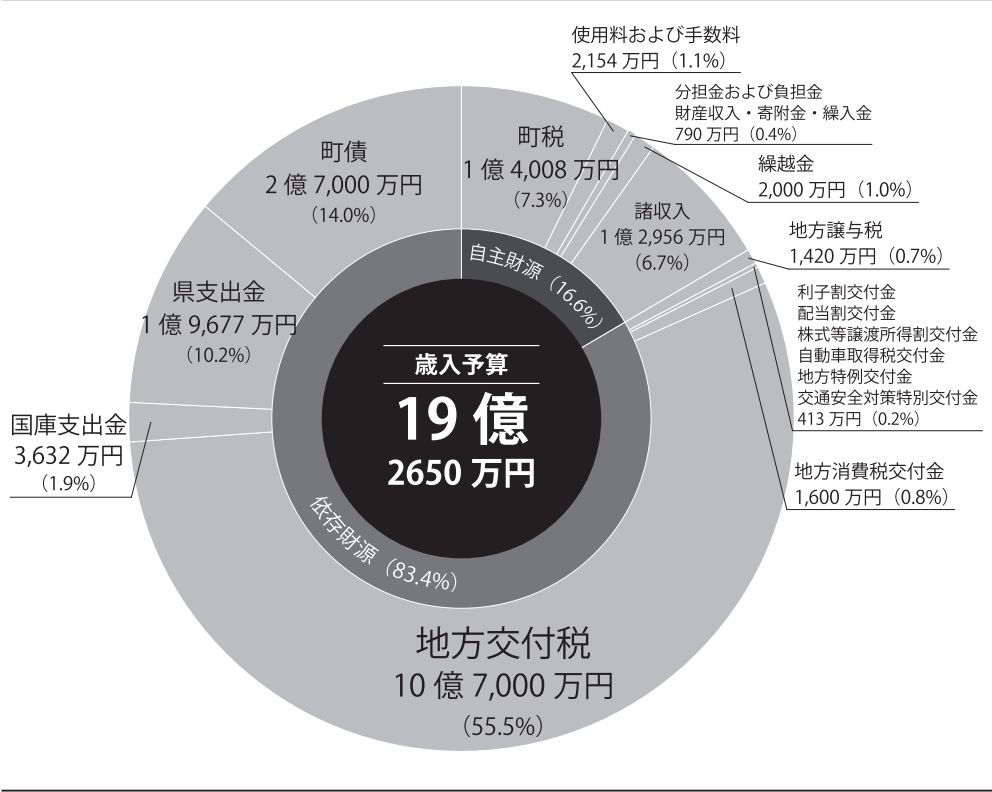
財政運営のために積み立てるお金です。

●繰出金

一般会計から特別会計に出しているお金です。

国の経済対策により各種事業を実施しました

平成20・21年度に、国が経済対策として町に配分した交付金（①緊急安心実現総合対策交付金1億3,200万円②生活対策臨時交付金1億2,405万円③経済危機対策臨時交付金1億5,287万円④公共投資臨時交付金1億2,840万円④きめ細かな臨時交付金7,922万円）を活用し、町道改良3,300万円、地区の農道等原材料支給490万円、町営住宅結露対策工事147.5万円、携帯鉄塔整備118.4万円、小中学校施設整備124.7万円、町施設改修680.0万円など、要望のあった各種事業を行うことができました。



一般会計予算

19億 2,650万円

前年度より 15.4%増

国からの地方交付税が、町の歳入の半分以上を占めています。民主党政権の地域主権改革により、地方が自由に使える財源を増やし、自主財源の強化を図るという方針が示されています。しかし、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）が景気低迷により大きく落ち込んでおり、国の財政も厳しさを増しています。そのため、地方交付税を頼りとしている町の財政も、安心できる状態ではありません。

自主財源である町税は、毎年減少し続けています。人口の減少、高齢化、産業の低迷など、町内の状況を考えると回復の兆しは見えません。限られた財源を無駄にせず、経費と労力を集中させて業務を行うことにより、効果を上げることができるよう努めています。

光ファイバーケーブルの整備は、今後の暮らしのために必要不可欠なものと判断し、平成21年度に完了しました。これを活用して、①テレビ放送設備②情報通信設備の整備が計画されています。平成22年度は、テレビ放送設備に1億3,965万円の予算を計上し、役場にセンター施設を設け、町内各世帯に放送ケーブルを接続します。

地場産業の振興については、国の「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用し、①会津地鶏ブランド新商品開発および販路拡大委託事業②地場材を利用した新商品開発試作事業③桐製品による新商品開発委託事業を行います。

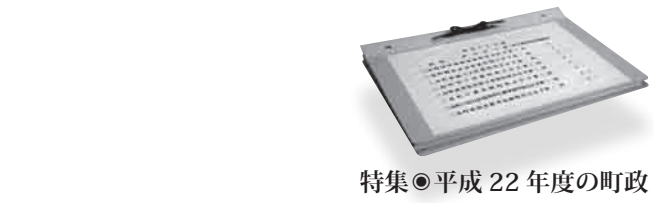
そのほか、地区や団体などの地域づくり活動を支援するため、地区支援補助金2,000万円が新たに予算化されました。

平成22年度の一般会計と8つの特別会計の予算が、町議会3月定例会で議決されました。

町の予算は、皆さんの大切な税金や、国からの地方交付税などで成り立っています。

町職員は、最小の経費で最大の効果を上げることに努め、町民の皆さんのために、行うべき施策を実施していきます。

行うべき施策の「選択」



光ファイバーケーブルを活用したテレビ放送設備 1億 3,965万円

地区支援補助金 200万円

平成22年度 会計別予算額		
会計名	予算額	増減率
一般会計	19億 2,650万円	+15.4%
特別会計	国民健康保険	2億 8,275万円 -4.7%
	簡易水道	1億 1,640万円 -27.9%
	路線バス	2,035万円 -1.5%
	老人保健	4万円 -96.6%
	農業集落排水	3,102万円 -9.7%
	介護保険	2億 9,047万円 +8.4%
	戸別合併処理浄化槽	3,156万円 -36.8%
	後期高齢者医療	3,276万円 +8.4%
合計	27億 3,185万円	+7.9%

未来を描く 「計画」



特集◎平成22年度の町政

『女の子が生まれると、幸せを願って桐を植える』
振興計画も、幸せな未来を願って作られます。
平成23年度からの10年間の計画となる
「第四次三島町振興計画」の策定作業が始まっています。
町民の皆さんの声を生かしながら、
未来を創造する確かな計画作りに努めます。

町づくりの指針を示す 「振興計画」の策定

振興計画は、町民一人一人の豊かな生活を実現するために、町内外の社会動向を踏まえ、町づくりの総合的な指針とするものです。①基本構想 ②基本計画③実施計画で構成されます。

①基本構想
10年後の平成32年度を目標年次とし、将来の町の姿と、それを実現するために必要な施策を定めるものです。

②基本計画

5年後の平成27年度を目標年次とし、基本構想に基づいた施策実施のための基本的な事業内容を定めるものです。

③実施計画
3年ごとの具体的な事業内容や財源などを示し、毎年見直しながら予算編成の指針とするものです。

昨年12月に、振興計画策定メンバーを町民から公募しました。現在、町職員と公募メンバーで構成される策定班お

よび策定部会（①経済部会②福祉部会③教育部会④行財政部会）の会議が定期的に開かれ、第三次振興計画の達成度評価などが行われています。

今後、地区座談会、アンケート調査、広報誌やホームページでの意見募集などを行い、町民の皆さんの声を計画策定に生かしていきます。

平成23年度からの10年計画となる第四次振興計画は、振興計画審議会の答申を経て、平成23年3月の町議会定例会に提案される予定です。

「教育振興基本計画」も 策定作業がスタート

町の実情に応じた教育の計画を作るために、三島町教育振興基本計画策定委員会（五十嵐乃里枝委員長）が設置され、策定作業が始まりました。町の児童生徒数は年々減少していますが、子どもがさらに少なくなっても、将来にわたる健全な教育が求められています。教育振興基本計画は、今後の町の教育の方向性や、行うべき施策などにつ

いて、体系的に示すことを目的に策定されます。

振興計画、教育振興基本計画が策定される今年度は、町の未来ために重要な年です。町職員は日々の業務と同時に、10年先、20年先の視点を持ち、「町民の皆さんの未来のために、今、何が必要か」を考えなければなりません。大きな目標を実現するために、一つ一つの仕事を着実に進めたいと思います。

特集「平成22年度の町政」終わり

手間を惜しまず世話をしなければ、良質の桐が育たないように、
今、できることを、小さなことでも、一つ一つ実行していくことが、
理想の未来に近づくための、ただ一つの方法です。
確かな一歩を、積み重ねていきましょう。
夢を追いかけて。可能性を信じて。



町民センター図書コーナー
ゆめぼけっと

子どもたちが安心して過ごせる場所、
皆さんの憩いの場、学びの場として、
充実を図っていきます。皆さんの夢が
たくさん詰まった場所となるように…



第9回全国編み組工芸品展
経済産業大臣賞作品
「取っ手付き収納かご」
上村健三・作
材料／クルミ、うわみず桜



森屋宏東北経済産業局中小企業課長から経済産業大臣賞の賞状を受ける上村健三さん(写真右)



齋藤茂樹町長から大賞の賞状を受け、握手を交わす齋藤ミツコさん(写真中央)と付き添う娘の藤田美代子さん(写真左)

受賞者(敬称略)
第29回三島町生活工芸品展
▽大賞Ⅱ齋藤ミツコ(大登)・刺し子こたつ掛け▽優秀賞Ⅱ小平廣市(西方)・こしぎる、管家美津子(間方)・山ブドウ外皮手提げかご、長谷川テル子(大石田)・ヒロロ抱えバッグ▽奨励賞Ⅱ馬場昭子(大登)・裂き織シヨルダー、二瓶新次(名人)・木ざる、矢澤昇(高清水)・焼杉「森の腰かけ」▽伝統技術者証Ⅱ舟木義晴(間方)・むしろ、長郷タツエ(間方)・どんべ(背負いかご)、菅家アイ子(間方)・ワラスカリ▽町生活工芸運動友の会長賞Ⅱ五十嵐フミイ(大谷)・ヒロロ手提げかご、二瓶一男(西方)・マタタビ平ざる、角田清義(浅岐)・山ブドウ手提げかご▽町文化協会会長賞Ⅱ小柴康彦(名人)・山ブドウ手提げかご▽町観光協会会長賞Ⅱ五十嵐ハナ子(浅岐)・ヒロロ巾着▽町商工会長賞Ⅱ板橋泰二郎(滝原)・山ブドウ手提げかご▽日本赤十字社福島県支部長賞Ⅱ鈴木みゑ子(桧原)・モワダ長財布▽県老人クラブ連合

会長賞Ⅱ西郷ハル子(間方)・ガマ草履▽町老人クラブ連合会長賞Ⅱ目黒良介(滝谷)・マタタビ米とぎざる▽町社会福祉協議会長賞Ⅱ菅家千代子(間方)・アケビ手提げかご▽福島民報社賞Ⅱ矢澤民子(高清水)・ヒロロ巾着▽福島民友新聞社賞Ⅱ板橋久枝(宮下)・山ブドウシヨルダー▽㈱マルシェみしま賞Ⅱ渡部佐治郎(西方)・マタタビ手提げかご▽宮崎清賞Ⅱ角田進(川井)・ほうき、小柴芳子(西方)・ヒロロ縄、二瓶譲(大谷)・山ブドウ手提げかご、海老名一子(桧原)・ヒロロシヨルダー、若林和子(浅岐)・ヒロロ手提げかご、秦サチコ(大石田)・ヒロロ手提げかご、菅家ハルイ(間方)・ヒロロ手提げかご、諏訪フヂエ(浅岐)・ヒロロ手提げかご、二瓶六衛門(西方)・山ブドウ入れ子のかご、板橋久枝(宮下)・山ブドウ手提げかご、五十嵐富一(大谷)・山ブドウ手提げかご、五十嵐フミエ(大石田)・山ブドウ抱えバッグ、五十嵐喜良(名人)・山ブドウ手提げかご、長郷タツエ

(間方)・山ブドウ外皮スカリ、五十嵐フミイ(大谷)・ヒロロスカリ、角田晴実(川井)・マタタビ楕円ざる、渡部佐治郎(西方)・マタタビ四つ目ざる、一ノ瀬時代(大石田)・マタタビざる、栗田政行(川井)・ひょうたん炭入れ
第9回全国編み組工芸品展
▽経済産業大臣賞Ⅱ上村健三(新潟県長岡市)・取っ手付き収納かご▽林野庁長官賞Ⅱ江川宗夫(新潟県阿賀町)・背負いかご▽東北経済産業局長賞Ⅱ千葉文夫(宮城県大崎市)・大酒屋ざる▽福島県知事賞Ⅱ竹内和雄(会津若松市)・ブドウ蔓バッグ▽勸伝統的工芸品産業振興協会会長賞Ⅱ若林和子(浅岐)・ヒロロ手提げかご▽三島町長賞Ⅱ菅家哲夫(金山町)・コクワ浅ざる▽奥会津三島編組品振興協議会長賞Ⅱ栗原和美(埼玉県さいたま市)・六つ目花結びかご▽福島民報社賞Ⅱ柴田恵(岩手県一戸町)・二重編み菓子器入れ子▽福島民友新聞社賞Ⅱ山本正子(猪苗代町)・



多くの来場者でにぎわった三島町生活工芸品展

アケビ手提げかご▽NHK福島放送局賞Ⅱ野中勇(会津美里町)・マタタビ米とぎざる▽福島テレビ賞Ⅱ西谷喬(大阪府豊中市)・物入れかご▽福島中央テレビ賞Ⅱ栗田伝三郎(金山町)・穀物ふるい▽福島放送賞Ⅱ森新緑(大分県日田市)・弁当かごふた付▽テレビユー福島賞Ⅱ木村日出子(愛媛県愛南町)・買い物かご▽特別賞Ⅱ五十嵐朝子(大石田)・ヒロロ手提げかご、青山照代(宮城県大崎市)・浅ざる、西方さと子(長野県野沢温泉村)・書類ケース、矢内文子(石川町)・市松編みバッグ、五十嵐カツミ(昭和村)・手編み帽子

第29回三島町生活工芸品展

齋藤ミツコさん(大登)白慢の「刺し子」で大賞に輝く

93歳の齋藤ミツコさんが大賞に輝きました。
第29回三島町生活工芸品展は3月20日・21日、生活工芸館で開催され、出品総数780点の中から、齋藤ミツコさん(大登)の作品「刺し子こたつ掛け」が大賞に選ばれました。齋藤茂樹町長は「93歳のミツコさんの大賞は本当にうれしいことです。販売するだけでなく、暮らしの中にあつたものを伝えていくことが大切です」と話しました。

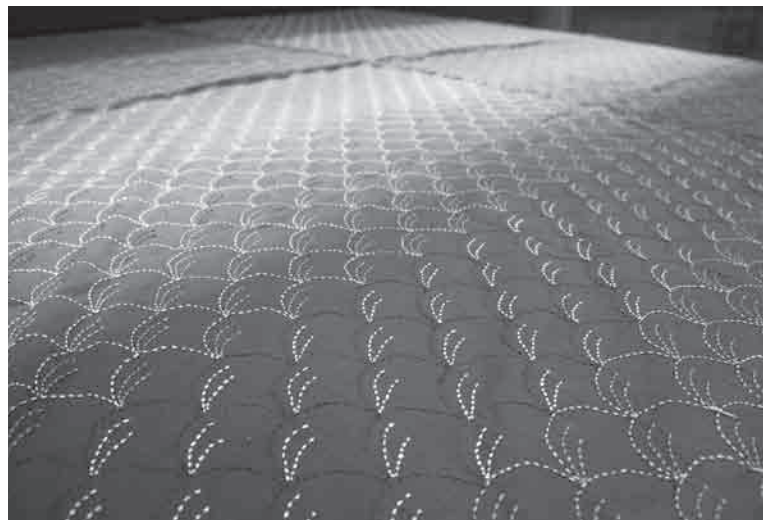
また、第9回全国編み組工芸品展は3月20日から24日まで、桐の里美術館で開催されました。出品総数563点の中から、上村健三さん(新潟県長岡市)の作品「取っ手付き収納かご」が経済産業大臣賞に選ばれました。上村さんは「今まで支えてくれた方々に感謝します。これからも作品作りに精進し、後継者の育成にも力を入れます。自然の恵みに感謝しながら、手が動く限り続けたいと思います」

います」と話しました。
東北経済産業局の森屋宏中小企業課長は「町の皆さんが編み組細工を持ち歩いていることにびっくりしました。これからも日用品として愛用されるものを作ってください」と祝辞を述べました。また、県観光交流局の吉田肇県産品振興戦略課長は「生活に根差した工芸が新しい産品として発展し、編み組細工が三島町の振興に役立つことを期待します」と話しました。

第9回全国編み組工芸品展

経済産業大臣賞は上村健三さん(新潟県長岡市)

第29回三島町生活工芸品展大賞作品「刺し子こたつ掛け」 齋藤ミツコ・作





山ブドウの皮でストラップを作る子どもたち

山ブドウの皮でストラップ作り 三島保育所ほし組の子どもたち

三島保育所ほし組（年長）の子どもたちは3月10日、生活工芸館で山ブドウの皮のストラップ作りを行いました。小柴芳夫さん（西方）、菅家藤一さん（工芸館職員・間方）が作り方を教え、満了記念のかわいいストラップが出来上がりました。4月から小学校に入学する子どもたちは、「ランドセルにさげる」などと言って喜んでいました。



1食分の栄養素が計算された野菜料理を試食する参加者

栄養素を学び、野菜バイキング ヘルスアップえいよう教室

ヘルスアップえいよう教室は3月17日、町民センターで開かれ、約20人が参加しました。管理栄養士・健康運動指導士の矢澤タツ子さん（会津若松市）が講師を務め、野菜の栄養素について学びました。その後、町食生活改善推進員の皆さんが作った野菜バイキングが提供され、1食分の量の野菜（白菜・小松菜・人参など）を使った料理を食べました。



母・昌江さんと一緒に紙びなを集める矢澤雅生くん

矢澤^{まさき}雅生くんが行事を継承 高清水の「ひな流し」（県指定重要無形民俗文化財）

高清水地区で継承されている伝統行事「ひな流し」は3月4日に行われました。同地区でただ一人の男の子、矢澤雅生くん（6歳）が各家を回り、女性の人数分作られた紙びなを木箱に集め、三島大橋付近から只見川に流しました。女性の皆さんも付き添い、流れていく紙びなに手を合わせました。行事には報道カメラマンが訪れ、希少な行事を撮影しました。



ボールゲームなどを楽しむ参加者

声を上げて笑える楽しみ 地域ふれあいサロン「滝谷和楽塾」

地域ふれあいサロン「滝谷和楽塾」は3月18日、滝谷集会所で行われ、地区住民の皆さん13人が参加しました。町社会福祉協議会のサポートにより、指の運動やボールゲームなど、体を動かしながら脳を活性化させる「脳トレ」を行って楽しみました。参加者は「みんなで声を上げて笑えることがうれしい」「顔を合わせることが楽しみ」などと話していました。

負けないで、泣かないで、自分を信じて 三島中卒業式、18人が義務教育を終え、それぞれの道へ



佐久間雄彦校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡された

三島中卒業生（H6.4.2～H7.4.1生まれ）／板橋亮（滝原）、大竹克明（滝谷）、栗城浩太（宮下）、小林豊実（宮下）、高橋優二（宮下）、角田将規（早戸）、二瓶敦（桑原）、二瓶知生（名入）、二瓶孝章（西方）、長谷川光（川井）、羽田真也（西方）、山内祐太（西方）、五十嵐美香（西方）、小柴結佳（名入）、酒井萌（高清水）、長谷川絢美（大登）、森田明日香（川井）、山口百恵（松原）

三島中卒業式は3月12日に行われ、男子12人、女子6人、計18人が卒業しました。佐久間雄彦校長は「自分を大切に、能力を伸ばす努力をしてください」と式辞を述べました。また、北館長一教育長は「中学卒業は自分探しの旅の第一歩です。人の心が分かる力、協力することができる力、感情をコントロールする力、夢をつくる力を伸ばしてください」と告辞を述べました。続いて、齋藤茂樹町長、角田伊一町会議長、小柴謙PTA会長が祝辞を述べました。式では別れを惜しみながら、「蛍の光」「仰げば尊し」「手紙」が合唱されました。保護者の皆さんは、大きくなったわが子の姿に涙ぐんでいました。



坂内洋二校長から卒業証書を受ける卒業生

大きな夢を持って中学校へ 三島小卒業式、11人が巣立つ

三島小卒業式は3月23日に行われ、男子8人、女子3人、計11人が卒業しました。卒業生は、坂内洋二校長から卒業証書を受け取った後、一人ずつマイクに向かい、中学校での目標や将来の夢を自分の言葉で発表しました。坂内校長は「友人と切磋琢磨し、大きな夢を持ち、自分の可能性を信じて進んでください」と式辞を述べました。



三島保育所で行われたワンダークラブのひな祭り

かわいい紙びなを作る ワンダークラブ「ひな祭り」

保育所入所前のお子さんを対象としたワンダークラブは3月3日、三島保育所で開かれ、9組の親子が参加しました。今回はひな祭りにちなみ、色紙でおひなさまを作りました。出来上がったおひなさまは、ひな段飾りと一緒に飾られました。ワンダークラブでは、毎月さまざまな内容で楽しんでいます。お気軽にご参加ください。☎教育委員会 ☎ (48) 5599

出前講座を実施して

福島県立宮下病院
外来看護師 富田 佳加

皆さま、こんにちは。「三寒四温」を肌で感じ、「春」の訪れが待ち遠しい季節です。皆さまがご家庭で、この記事を手にするころは、きっと桜の便りも届く季節でしょう。

さて、当院で2年前から開催している「出前講座」をご存知ですか。「参加したことがある」という方もいらっしゃると思います。

まだ聴講されてない方は、ぜひいかがでしょうか。3人、4人でも、どこへでも参上いたします。わたしの講座名でもあります。皆さまに「いつまでも、いきいきと自分らしく過ごしていただきたい」からです。皆さまの身体と心の健康生活に、当院の出前講座を、どんどんご利用いただければと思います。

ところで、わたしは講座を実施していく中で、多くの地域住民の方と、病院外でお会いする機会に恵まれました。出前講座という場合は、看護師として認知症予防の話や運動を提供する立場よりも、人生の大先輩である参加者の皆さまとともに楽しみ、「人とのつながり」を心底かみしめることのできる場であると感じます。教える、教えられる場ではなく、一緒に同じ時を楽しむ場なのです。

従って、皆さまは「何か覚えていこう」というより、一つでもいいので「家で参考にしよう」と思っただけでいいと思います。

皆さまの笑顔、真剣なまなざし、温かさは、「元気の源」として、わたしの心のお土産になっています。そして、参加者とのふれあいが、日常の看護業務の原動力になっているのを感じながら、帰路に着く今日このごろです。

巡る季節の中で、この地域のどこかで、皆さまとともに楽しい時間を過ごせることを心待ちにしています。

「出前講座」

お問い合わせ
福島県立宮下病院事務部
☎ (52) 2321

東北電力(株)が寄附

会津若松支社から町に公衆街路灯
只見川ダム管理所から町社協に寄附金

東北電力(株)若松支社から三島町に、公衆街路灯が寄贈されました。田苗博支社長が3月4日、役場町長室を訪れ、齋藤茂樹町長に蛍光灯街路灯10灯、高圧ナトリウム灯10灯の目録を手渡しました。

また、同社只見川ダム管理所は、2月13日に開催された第38回雪と火のまつりの模擬店で豚汁、甘酒、玉こんにゃくなどを販売し、その収益金29,110円を町社会福祉協議会に寄附しました。大津善美所長が3月4日、役場町長室を訪れ、齋藤茂樹町長(町社会福祉協議会長)に寄附金を手渡しました。



齋藤茂樹町長に目録を手渡した田苗博東北電力(株)会津若松支社長

町の農林業の実態を調査

2010年世界農林業センサス

農林業の実態を調査する「2010年世界農林業センサス」は、平成22年2月1日を基準日として行われました。町統計調査員が対象世帯を訪問し、田畑の耕地面積や農産物の販売金額などを調査しました。調査票は役場で整理され、県統計調査課に提出されました。調査結果は、国の農林行政、国土利用計画、地方交付税の算定などの基礎資料として利用されます。



県統計調査課に提出された約500世帯分の調査票



海老名俊雄さんの解説を聞き、「参宮道中記」を読んだ講座

講座「三島を学ぶ」第5回、「参宮道中記を読む・後編」は3月20日、いまここカフェ(旧物産館)で開かれ、約20人が参加しました。この講座は「いまここネット」の主催で、三島の歴史や文化について、さまざまな視点から学んでいきます。これまで、第1回「荒屋敷遺跡発掘秘話」、第2回「中世の三島町・山ノ内一族の興亡」、第3回「伝説が語る古代の三島町」、第4回「参宮道中記を読む・前編」が行われてきました。第5回の講座では、会津史学会顧問の海老名俊雄さん(松原)が、第4回に引き続き講師を務めました。「参宮道中記」には、1832年に滝谷村と郷戸村の人々が、各地の寺社を巡り歩く2カ月間の大旅行をしたことが記録されています。海老名さんは、時代背景も含めて詳しく解説しました。参加者は、長い長い旅路を歩いた古人に思いをはせながら、古い記録から分かる歴史や文化について理解を深めました。

地区の歴史を

ひも解く

各地区で
「暮らしと文化を話し合う会」



古い資料を広げ、川井地区の歴史や地理を熱心に調べる参加者

川井地区の暮らしと文化を話し合う会は3月3日、川井集会所で開かれ、地区住民の皆さん6人が参加しました。この会は、歴史や文化を地区づくりに活かすために、各地区で開かれているものです。歴史に詳しい角田伊一さんは「各地区に何がどのように残っているのかを聞き取り、まとめることは非常に大切です。川井とはどんなところなのか、歴史は深いと思います」と話しました。

参加した皆さんは、古い地図や記録を見ながら話し合い、地区の歴史、言い伝え、地名の由来、一族の歴史、領主の支配など、さまざまな話題が出ました。長谷川幸栄川井区長は「古い記録を残し、人の交流を図ることができれば、川井も活気が出ると思います」と話していました。

町教育委員会では、各地区での話し合いを生かしながら、文化財総合的把握モデル事業による三島町歴史文化基本構想などの策定を進めます。

町職員の人事

3月31日付退職

鈴木隆（総括参事・総務課長・会計管理者）

矢澤源成（教育次長・生涯学習課長・公民館長・町民センター所長・保育所長）

小松豊（議会事務局長）

小林辰伊（産業建設係）

4月1日付異動

◇総括参事・奥会津五町村活性化協議会事務局長・只見川電源流域振興協議会事務局長
五十嵐政人（参事・産業建設課長）◇総務課長 渡部繁信（参事・町民課長）◇議会議務局長・地域振興担当 角田陽市（生活工芸館長・交流センター所長）◇会計管理者 坂内君子（出納室係長）◇町民課長 目黒政寿（町民課長補佐・町民生活係長）◇生涯学習課長・公民館長・町民センター所長・保育所長・生活工芸館長・交流センター所

※氏名の後のかつこ書きは、旧役職または旧部署です。

長 秦和幸（生涯学習課長補佐・生涯学習係長）◇産業建設課長・農業委員会事務局長 小堀庄太郎（産業建設課長補佐・産業建設係長）◇総務課長補佐・企画財政係長 森田勝（総務係長）◇産業建設課長補佐・産業建設係長 鈴木庄蔵（企画財政係長）◇生涯学習係長・生活工芸館副館長 小柴謙（文化観光係長）◇町民生活係長 諏訪典子（町民生活係）◇文化観光係長 板橋淳也（文化観光係）◇総務係長 小松昭（総務係）◇保健福祉係長 菅家直人（保健福祉係）◇文化観光係 北館亮（企画財政係）◇総務係 大竹重一郎（文化観光係）

4月1日付採用

◇企画財政係 五十嵐優（会津若松市出身）◇産業建設係 黒澤寿樹（会津若松市出身）

「森のしごと舎」が旧物産館にオープン
栃材、杉材、木工家具などを展示販売
木の魅力があふれる館内



- 1 栃材や杉材、木工家具などが展示販売されている「森のしごと舎」
- 2 木材の価格票には、伐採場所・時期、製材時期、乾燥期間、価格の根拠などが細かく書かれており、情報を隠さず公開している
- 3 2階には、奥会津の美しい風景の写真などが展示されている



「森のしごと舎」は、旧物産館を利用して3月20日にオープンしました。1階では栃材や杉材、木工家具などを展示販売しています。2階は写真ギャラリーとなっており、栃の大木の伐採・製材の写真や、美しい奥会津の風景写真などが飾られています。「森のしごと舎」は、佐久間建設工業（佐久間源一郎社長）の森林事業室が運営しています。木材は、同社が浅岐地区や早戸地区で伐採したものです。また、林地残材を利用して製作したテーブルなども展示販売されています。伐採・製材の見学会も開催されています。佐久間建設工業（株）有紀が協力、町が後援している「山と木の集い実行委員会」は、2年前から「栃の王国見学会」を開き、樹齢



森のしごと舎
（旧物産館）

開館時間
9:00～17:00

佐久間建設工業（株）
0241 (52) 3111

300年を超える巨木の伐採・製材を参加者に見てもらい、木の魅力を広めています。この見学会は、環境保全のために参加者20人限定で、今年も開催されます。さらに、「木材で何か作ってみたい。でも家でやるのはちょっと…」という方のために、（株）有紀三島工場において指導を行っています。佐久間建設工業（株）の五十嵐善徳森林事業室長は「木には、優しい、温かい、自然の恵みなど、たくさんのイメージがあります。でも、同じ木は一本ありません。それぞれが最大の魅力です。木の素晴らしさを伝えたいと願い、『森のしごと舎』を開設しました。木の息吹を少しでも感じていただけたらと思っています」と話しています。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

《本の紹介》
図書コーナー運営ボランティア
北館 緑さん

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●教育委員会 ☎ (48) 5599

おおきくなるってことは

中川ひろたか・文 村上康成・絵
童心社

服が小さくなったり、あまり泣かなくなったり、自分でできることが多くなったり、小さい子に優しくなったり…。大きくなるってことは、そういうことなんだ。

幼児向け



小学生向け



つながってる！いのちのまつり

草場一壽・作 平安座資尚・絵
サンマーク出版

犬のパールが子犬を産んだ。子犬のおなかにひものようなものがくっついてた。へその緒だ。ミズちゃんも、へその緒でお母さんとつながっていたんだって。

子産 上・下巻

宮城谷昌光・著
講談社

紀元前500年ごろの中国の革命家、子産の物語です。礼を重んじた子産は、中国で初めて法を明文化し、儒教の始祖・孔子にも尊敬された賢人です。

一般向け



小学生向け 六年四組 ズッコケ一家

山中恒・著
理論社

6年4組の第4班には、どういわけか変なのばかり12人が集まってしまった。付けられた名前は「ズッコケ一家」。

これからの行事予定 town schedule

4月6日(火)

三島小入学式 9:00～ 三島小体育館

三島中入学式 10:30～ 三島中体育館

弦哲也のFTVカラオケグランプリ出張予選会 in みしま

17:30～ 交流センター山びこ

4月8日(木)

民生児童委員協議会定例会 13:30～ 福寿草

4月15日(木)

三島町歴史文化基本構想等策定委員会

14:00～ 町民センター

4月16日(金)

三島町赤十字奉仕団総会 10:00～ 町民センター

4月25日(日)

三島町消防団春季検閲式 10:00～ 町民運動場

5月3日(祝)～5日(祝)

鬼子母神例大祭

西隆寺・岩倉山鬼子母神



鬼子母神

5月6日(木)

民生児童委員協議会定例会 13:30～ 福寿草

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎ (48) 5565

心の健康相談

4月 7日(水) 13:30～ 福寿草

ヘルスアップうんどう教室

4月 8日(木) 13:30～ 町民センター

機能訓練会

4月14日(水) 14:00～ 福寿草

ポリオ予防接種

4月15日(木) 13:00～ 町民センター

ＹＹサークル

4月16日(金) 10:00～ 昭和村・すみれ荘

足腰げんき教室（室内運動編）

4月20日(火) 13:30～ 町民センター

3歳児健診

4月21日(水) 13:00～ 柳津町・銀山荘

足腰げんき教室（水中運動編）

4月27日(火) 13:00 町民センター集合
河東学園プール

ヘルスアップえいよう教室

4月28日(水) 13:30～ 町民センター



会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では2月中、刑法犯は発生しませんでした。

振り込め詐欺に
利用される可能性のある
郵便局の新サービスについて

郵便局では、4月1日から「レターパック」という郵便サービスが始まりました。

①レターパック 500 (500円)

※受取人の受領印または署名が必要です。

②レターパック 350 (350円)

このレターパックでは、現金やその他の貴重品を送ることはできません。

もし、レターパックを利用して現金を送るように言われたら、詐欺の可能性があります。十分にご注意ください。

街頭犯罪発生状況 (1月～2月)

区 分	管内	三島町
空き巣狙い		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機狙い	1	
車上狙い		
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	2	0
全 刑 法 犯	15	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

自衛官

幹部候補生を募集します

自衛隊会津若松出張所

●幹部候補生（一般・技能）

①資格

20歳以上 26歳未満の者

②受付期間

5月10日まで

③将来の展望

採用とともに陸・海・空曹長に任命され、約1年間の教育後、幹部自衛官となります。

●幹部候補生（医・歯・薬剤）

①資格

専門の大卒（卒業見込みを含む）

30歳未満の者（薬剤は26歳未満の者）

②受付期間

5月10日まで

③将来の展望

自衛隊の衛生分野において、医療衛生業務に従事する幹部自衛官となります。

幹部候補生の身分・待遇

◇身分＝特別職国家公務員

◇初任給＝大卒 214,900円

（医科・歯科 232,000円）

◇ボーナス＝年2回（6月、12月）

◇昇給＝年1回

◇休日＝週休2日制、祝日、年末年始、夏季休暇、年次休暇

◇健康管理＝自衛隊病院、医療設備が完備されています。

◇住居＝官舎など

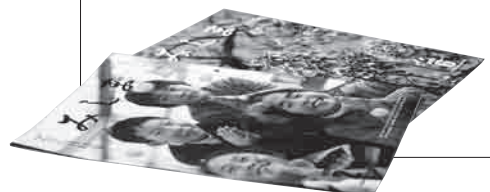
《資料請求・お問い合わせ》

自衛隊会津若松出張所

☎ 0242 (27) 6724

広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております



「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

☎ 役場 総務課 企画財政係 ☎ (48) 5515

高齢者を見たら、
子どもを見たら、
注意モード運転。

春の全国交通安全運動

4月6日～15日

飲んだら乗るな！

飲酒運転根絶

ルールを守って！

自転車の安全利用

後部座席もシートベルト

チャイルドシート



三島町交通対策協議会
交通安全協会三島分会
三島町交通安全母の会

三島町の人口と世帯
(3月1日現在)

人口	2,074	-9	出生	0
男	974	-4	死亡	3
女	1,100	-5	転入	1
世帯	849	-3	転出	9
			帰化	2

※住民基本台帳による数値です。

歳時記 萌の会

学位記の帰省待ちをり早春賦
春温し見知らぬ人と長話し

西芳 小 柴 六進子

夢に入る雪解凍の心地よく
離れては又戻り来る流し雛

西芳 小 平 佳子

自給活動としての 生活工芸を 継承してほしい。

名誉町民

宮崎清先生が講演



町民センターで講演する宮崎清先生

名誉町民、宮崎清先生の講演会は3月19日、町民センターで開かれました。宮崎先生は、約40年前に初めて三島を訪れて以来、何度も足を運び、昭和56年に「生活工芸運動」を提唱し、現在までアドバイザーとして尽力されています。

講演では、学生を連れて民家の蔵を調査した思い出や、囲炉裏を囲んでものづくり談議に花を咲かせたことなどを交えながら、三島の町づくり運動の歴史についてお話しされました。

「三島に初めて来たころ、『何もない所によく来ましたね』とよく言われました。『東京には何でもある。山村は遅れている』と。当時の日本はどこでもそうでした。都市のようになっていくことが発展と考えていました。本当に『ないない尽くし』。こんなに寂しいことはありません。今の三島があるのは、『ありあり尽くし』へと転換ができたからです。三島の人々は山の自然を守り、山に感謝

し、山の恵みを頂いて暮らしてきました。これを古いと言ってしまうと、今の三島はありません。これが固有の価値じゃないか、文化じゃないかと、価値観を変えてきました。都市では、どの誰が作ったか分からないものを買うだけです。隣に誰が住んでいるのかも分かりません。三島では、そんなことはありません。三島の人口は2千人を割りましたが、大丈夫です。必ず横ばいになります。都市の若者たちが捨てておきません。山村に住みたいという願望が高まっています」

また、宮崎先生は暮らしの中にあった多く民具が作られなくなったことを指摘し、「生活の中で使うための工芸」を継承することを強く訴えました。

「以前はまるで百貨店のようになくさんの民具が作られていました。今はどうでしょう。自分の生活の中で使うものを作っていますか。自給自足のものづくり

になっっていますか。自然の恵みに感謝していますか。みんな山ブドウ、みんなマタタビ、みんなヒロロ、作れば売れる。それだけではないでしょう。木ざる、大だれ、背中当て、ゲンベ、雪踏み俵、背負い縄、へら、こね鉢、箕など、自分の暮らしの中で使うために作られるものが生活工芸の原点です。経済活動だけでは、生活工芸運動はしぼんでしまいます。自給活動としての生活工芸を継承し、家庭で、町内のさまざまな場所でも、可能な限り利用してください」

PROFILE

宮崎 清 先生

「生活工芸運動」を提唱し、現在までアドバイザーとして尽力。その功績により平成19年、初の三島町名誉町民となる。千葉大学理事・副学長を歴任し、平成20年3月に退官。現在、放送大学千葉学習センター所長、千葉大学名誉教授。千葉県習志野市在住。山梨県出身、昭和18年生まれ